

創徳中学校通信



自信と誇りを持つ方法

今年も本校(生徒)の傾向を検証するにあたり、下記の表のようにアンケート結果の経年変化を出してみました。

「安心して学ぶことができる学校を目指して」アンケート		R4		R5		R6	
R4、R5のデータは12月、R6のデータは7月調査の数値		自校	鈴鹿	自校	鈴鹿	自校	鈴鹿
1	学校へ行くのが楽しい	85.1	82.4	86.3	84.6	84.7	84.9
2	自分には良いところがある	77.0	74.5	78.3	78.8	77.2	76.9
3	クラスでは、安心して学ぶことができる	91.5	89.4	95.4	90.2	90.2	90.0
4	クラスの仲間は私の良いところや頑張りを認めてくれる	91.5	87.4	91.9	88.6	86.5	87.2
5	クラスでは、人に対する思いやりが大切にされている。	91.7	86.2	92.8	87.5	89.2	87.5
6	先生は、あなたの良いところを認めてくれている	92.8	92.4	96.2	94.2	95.7	93.8
7	困ったことがあれば、学校の先生に相談することができる	81.3	79.2	86.3	82.8	84.0	81.5

多くの項目で「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」が80%後半～90%の数値を示しています。そんな中、「自分には良いところがある」(自己肯定感)という項目だけが80%を切っています。あなたの良いところを多くの仲間や先生方が認めてくれているにも関わらず。

この「自己肯定感」を向上させるにはどうすればよいのだろうかと思案していると、ある出来事を思い出しました。

私は中学1年生から柔道を始め、大学まで競技者として、教員になってからは指導者として長く柔道に携わってきました。

私が大学生時代に所属していた柔道部は、2部から1部へ昇格はしたものの、そこにしがみついているのがやっとのことで、入賞どころか1回戦突破も難しい状況でした。

そんな母校が、東海地区の常勝チームに成長し、全国大会出場の常連校となったのは今から10年程前、私が卒業して20数年経った頃でした。

初優勝の知らせを聞いた当時、「まさかこんな日が来るとは」とOBとして、この快挙に喜ぶとともに感動さえ覚えました。

当時、三重県柔道協会の役員をしていた私は、この快挙を協会のHPに掲載しようと、大学の青年監督(当時29歳)にインタビューを試みました。その質問に対する回答の中に強さの秘訣を垣間見ました。

Q：大学の監督に就任して3年目になりますが、どのようなプラン・目標をもって指導されてきましたか。

A：学生には、常に自分のとる行動に「誇り」や「自信」をもって何事にも前向きに取り組むようにと指導しています。また、その裏打ちとなるような稽古内容や私生活面もしっかりとするように話してきました。これは、私自身も日々気をつけているところです。短期的な強化を目的とはしていません。教育に根差した柔道部を目指しています。当然ながら勝ち負けを通して学ぶこともたくさんありますが、それらを卓越した柔道を展開していくことが、我々の目標です。

学生は監督が言うように、自分自身に「自信」や「誇り」が持てるような練習と生活が心掛けてきたのだと思います。大学生ともなれば自由がいっぱいです。そのような環境の中、彼らは※自制心を持って生活をしてきたのでしょう。

インタビューの中にあるように簡単に剥がれ落ちる見せかけの「誇り」や「自信」ではなく、「裏打ちされた」毎日の積み重ねが学生たちを成長させたのだと感じました。

クリスマスやお正月など、楽しいことがいっぱいの冬休み。楽しみに流されることなく、自制心をもって生活してほしいと思います。特に3年生諸君！3学期に自信をもって受験に臨めるように日々の積み重ねを大切にしてください。それでは、みなさん、良いお年を！

※自制心—自分自身の感情や行動をコントロールする力のこと。我慢する力
にんたい きぼう ぎじゅつ

～忍耐とは希望をかなえる技術である～

＜部活動及びその他の教育活動における成果＞

○三重県中学校陸上競技大会（9/29）

【男子】・4×200m R 1位

・低学年4×100m R 7位

・100m 1位

・200m 1位

・円盤投 1位

・砲丸投 5位

・棒高跳 8位

○鈴鹿市陸上競技選手権大会（10/5）

【男子】・100m 3位

・1年男子100m 3位

4位

・走高跳 6位

・中学男子3000m 3位

・砲丸投 6位

・円盤投 1位

4位

・4×100m R 5位

【女子】・棒高跳 1位

・三段跳 4位

・走幅跳 7位

・走高跳 2位

・4×100m R 4位

○鈴亀地区中学校新人大会（10/5）卓球女子団体の部 3位

○鈴亀地区中学校新人大会（10/12）バドミントンの部 3位

○税の標語 銀賞

「納税し 今と 未来をつなげよう」

○鈴鹿市内小中学校作文コンクール 佳作

